

図書だより

図書館「よも～よ」 ☎582-5388

今月のおすすめ / 桑折町にゆかりのある本



児童書

■あしたへのまわり道
梅田俊作、梅田佳子：作
(ポプラ社)

イクハルは、勉強ができないわけでも、いじめられているわけでもないけれど、時々学校に行きたくなる。この日も学校を休んで、あてどなく歩いてたどり着いた「アルデナイド沼」。そこで出会ったのは転校生で不登校の女の子シュリ。学校では学べない事、学校では出会えない人たち。学校の外に世界は広がっている。一人ひとりの子どもたちが未来(あした)を生きる力を取り戻していく姿を描く。

●梅田佳子さんは、桑折町出身。「あしたへのまわり道」は、生前最期となる夫婦の共同作品となりました。



まちの施設たんけん

よも～よをもっと身近に

生活科の授業「まちたんけん」の一環で、10月から11月にかけて、町内の小学2年生が遊学館「よも～よ」を訪れました。児童らは、部屋ごとの特徴や利用者が快適に過ごせる工夫を学んだり、実際に本を借りる手続きをしたり、有意義な時間を過ごしました。



INFORMATION

郡役所deワークショップ クリスマスツリーづくり



郡役所deワークショップ「卓上ミニクリスマスツリーづくり」が12月16日から17日にかけて、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」で行われ、2日間で16人が参加しました。

今回のワークショップでは、紙コップや割りばし、麻ひもなど身近にある材料を使ってツリーの骨組みを作り、仕上げに思い思いの装飾を付けて世界にひとつだけのミニツリーを制作しました。

今後も、旧伊達郡役所では、郡役所deワークショップなど、さまざまな企画を行いますので、ぜひご参加ください。

マルベリーこおり

園事務局 ☎582-3129

マルベリーこおりCUP 第7回バドミントン大会 白熱の試合を繰り広げる

マルベリーこおりCUP第7回バドミントン大会が11月26日、醸芳中学校体育館で行われました。小学生から一般まで19ペア38人が参加し、バドミントンを楽しみながら、交流を深めました。

■結果

《一般の部》

優 勝 官澤・樋口ペア

第2位 浅野・山内ペア

第3位 大橋・後藤ペア

《エンジョイ☆ファミリーの部》

優 勝 HONDA

第2位 いぬとねこ

第3位 チームミウラ



Check

いつでも、誰でも、気軽に運動できる場所

みんなでスポーツしよう！

寒い冬、自宅でテレビやゲームなどをして、何となく時間を過ごしていませんか。いつでも、誰でも、運動できる場所として、次の日程で施設を開放しています。

《火曜日》醸芳中体育館 《木曜日》伊達崎小体育館

《金曜日》半田醸芳小体育館 各日19:00～



1_クリスマスソングをはじめ、ノスタルジックな演奏を披露 2_楽器を変えて、軽快なアレンジも楽しむ 3_仕事帰りに多くの人が来場 4_一人一人へのメッセージ付きカップでドリンクを提供

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

多彩な演奏に心癒されて お仕事終わりのジャズコンサート

「お仕事終わりのジャズコンサート」が12月15日の夜、イコーゼで開かれました。

クリスマスツリーのイルミネーションがきらめく中、町内外で活動する「スイングモード」の佐藤武明さん(町内在住)と鈴木豊さん(伊達市在住)が冬の夜にぴったりのジャズメドレーを次々と披露しました。途中、佐藤さんがジャズをより楽しむための鑑賞の仕方や曲の見どころを解説。来場者は、曲に合わせて拍手をし、サックスやギター、ピアノ、打楽器など、多彩な演奏に耳を傾けました。一年の締めくくりに仕事疲れを癒してもらおうと、会場内にアロマキャンドルを灯し、ホットドリンクを提供するなど、癒しの空間も演出。参加者からは「心が浄化されるおしゃれな企画。ジャズの醍醐味を味わえた」などの感想があり、一足早いクリスマスモードに包まれました。



荘厳な響きに浸る パイプオルガンコンサート

成人講座「パイプオルガンクリスマスコンサート」が12月17日に行われ、28人が参加しました。初開催の本事業は、イコーゼ発着のバスに乗り、福島市音楽堂の演奏会を鑑賞するツアー。貴重なパイプオルガンをはじめ、弦楽器やテノール、ピアノ演奏で構成された豪華なプログラム。クリスマスの名曲が披露され、参加者は荘厳な音色に聞き入りました。最後はサンタクロースに扮した演者ときよしこの夜を歌い、音楽を身近に感じられる1日となりました。



個性が光る壁飾り フラワーアレンジメント

「クリスマスのフラワーアレンジメント教室」が12月5日、イコーゼで行われました。開沼久則さんを講師に招き、参加者12人がクリスマスの壁飾りづくりに挑戦。カラープレートに、プリザーブドフラワーやクリスマス飾りなどを自由に配置し、世界に一つだけの壁飾りを作りました。それぞれの個性が活かす素晴らしい作品に包まれた教室は、一足早いクリスマスモードに。開沼先生の軽快なトークで、笑いの絶えない楽しい時間となりました。



SDG'sを意識して カレンダーでエコバッグ

オープンキッズスクール「エコバッグを作ろう」が11月26日、イコーゼで行われ、幼稚園児から小学6年生までの親子13人が参加しました。町内在住の鈴木キヨ子さんを講師に迎え、使用済のカレンダーで、オリジナル紙袋を制作。子どもたちは白地の紙袋に好きなシールや飾りを貼りつけて、かわいらしい紙袋、保護者はカレンダーの絵柄を活かしたおしゃれな紙袋づくりに挑戦。廃材がすてきな物に生まれ変わり、SDGsを体験できました。